

■ロンドン芸術大学 セントラルセントマーチンズカレッジ Warp Factor 09

場所 東京デザインセンター(東京 五反田)
日時 2009年10月13日(火)~19日(月)
主催 ロンドン芸術大学 セントラルセントマーチンズカレッジ

ロンドン芸術大学セントラルセントマーチンズカレッジ13名のデザイナーおよびリサーチャーがその革新性と先見性を披露する展示会が開かれた。セントラルセントマーチンズカレッジがどんな大学か認識不足の私にはわかりませんでした。卒業生にニールバレット、ギルバート&ジョージ、ジョンガリアーノの名前があり、なるほどと思いました。

この展示会では西洋と東洋、現実と非現実、デザインと科学、伝統技法と科学技術にあるさまざまな障害を果敢に共存させたり、あるいは乗り越えたりすることによって全く新しいテキスタイルを作り上げている。

日本企業との交流事業の可能性を紹介する作品を前にしたプレゼンテーションも実施している。

何の目的にどんなテキスタイルの可能性があるかのコンセプトがしっかり見えていて、とても勉強になりました。

ノーベル賞受賞者との交流でデザインの領域を広げる試みなど、日本の学生にも是非見て刺激を受けてもらいたいと思いました



記:豊方

■賛助会員訪問 モリリン株式会社

日時 2009年11月6日(金)
場所 東京都中央区東日本橋2-1-3

9月中旬にリニューアルしたばかりの東京支店に入るとすぐ会員の山口氏のタペストリーが出迎えてくれた。企画室の吉泉さんにリビンググループのお話を聞きました。

リビンググループは中国も含め社員は60名そのうち企画は東京に6名で、おもにOEMの企画デザインをしているそうです。リビンググループは消費者が望む最適な商品を、最適な時に買いたくなるプライスで。ビジネスの全体最適を実現する、モリリン・サプライチェーンマネジメントをしています。

製品アイテムは寝具全般、カーテンを除くインテリア用品、ペット関連製品がメイン。

売り先は量販店、ホームセンター、百貨店、通販関連。訪れた時はちょうどリビンググループの展示会が新しい大きなスクリーン付のショールームで行なわれていた。

内容はオーストリアのレンテング社のテンセル、リヨセル、モダールとの取り組みの説明。全世界の羽毛をサプライヤーと取り組み中国、国内工場生産されるダウン製品の展示。モリリンリビングの得意とするキルト、パッチワーク製品の紹介。

ペットのファッション製品の展示説明がされていた。



記:豊方